

4.2.4 被害の大きかった水道事業

栗原市水道事業の築館、栗駒、瀬峰および志波姫での管路被害は、道路亀裂が発生しているところで生じている。

15簡易水道事業と4飲料水供給施設および1簡易給水施設の20水道事業等のうち、文字簡易水道事業、耕英地区簡易水道事業、山口飲料水供給施設、花山・越戸滝ノ沢簡易水道事業、花山温湯簡易水道事業、小豆畑簡易水道事業、金沢飲料水供給施設および浅布・小川原飲料水供給施設の8水道事業が地盤変動により、管の破損や原水に濁りが生じた。(表4.7)

中山間部を直撃した地割れや地滑りの発生が特徴的で、湧き水を水源とする栗駒地区(図4.15)と花山地区(図4.16)水道事業に原水の濁り、枯渇、さらに水源地の崩落等が特徴的な被害であった。

(1) 文字簡易水道事業

(図4.13と図4.14の(ア)を参照)

荒砥沢ダム貯留池上流での崩壊と大規模な地滑りが生じた。(写真4.8)

文字簡易水道においても土砂崩落が生じ、管の閉塞で仮設導水管による対応を行った。濁り水対策はろ過器で対応した。



写真 4.8 荒砥沢ダム 上流部大規模地滑り箇所

地すべりの規模：幅 900m、長さ 1,300m (図 2.3.2 参照)